

福岡親子の会

つばさ

H19. 9. 9 発行

No. 13



去る1月28日日曜日、九大医学部同窓会館において、第16回福岡親子の会「つばさ」定例会が行われました。

総会後の講演会では、元春日小学校校長であり、同疾患の二人のお子さんの父親である西山一久先生をお招きし、「二人の子育てをふりかえり考えること」というテーマでお話し頂きました。

子育てのうえで、共感できることや参考になることがあり、又、先生の教育者としての小・中学校の現状のお話は、中学生を持つ親として興味深く聞くことが出来ました。

講演会終了後には、久々にバザー・ぜんざい会が催され、楽しい時間を共有できたのではないかと思います。わたしはぜんざいを担当していて、つばさスタッフの方々と和気藹々、皆さんにぜんざいをお出ししていました。(皆さんも、つばさスタッフに参加しませんか?)

最後になりましたが、会の運営にご協力下さいました皆様、そして、出席していただいた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

つばさスタッフ 今戸 雅子

二人の子育てを通して考えること

元春日市立春日小学校校長

西山 一久先生

はじめに

1女1男の二人の子供に恵まれました。二人とも口唇裂口蓋裂を持って、生命を受けました。最初、九州大学歯学部附属病院口腔外科で手術、矯正治療を受けていましたが、執刀して下さった先生が佐賀医科大学に行かれましたので、同大学病院でその後の外科治療を受けました。私も妻も教員でした。

I 子供たちの成長のようす

誕生から現在に至るまでの主なできごと

	長 女	長 男
口唇手術まで	九州中央病院で誕生, 3ヵ月で口唇の手術を終えるまで, そのまま入院 毎日ミルクを飲ませに行く 飲ませるのが難しかったが, 少しずつ量は増えていくのが楽しみだった 最初の手術を終え, 自宅に帰る	5年後に長男が誕生しました. 姉と同じ症状でした. 二人目ということで, 慌てる事はなかった
発音訓練	月に1回発音教室に行き, その間は自宅で練習 カ行とサ行が出にくく, ガラガラうがいや舌の動かし方を練習した 歌をテープに吹き込み, 聞かせて本人が発音の不明瞭さに気づき, 正しく発音するように習慣づけを行った	発音訓練は全くしなくてよかった
保育所・幼稚園	4歳: 保育所に預け同年代の子ども達と接触させ, 会話を多く体験させる 5歳: 幼稚園, 祖母を同居していたため, 市立保育所に入所できず幼稚園へ 近所の一つ歳上のお兄ちゃんに遊んでもらい, いろいろのことを学んだ	祖母入院のため, 3歳から保育所へ預けることとなり, 毎日, 送り迎えをやった: 朝7時30分と夕方6時 (親の職場の協力があつた) 当時の友達と今も交流している

小学校から大学	学校の先生とのよりよい関係でいろいろのことを乗り越えた 良い友達に支えてもらって楽しく過ごす 祖母の存在:「夕飯は必ず一緒に」を心がける 大学は自宅を離れて4年と修士2年 昨年結婚 現在33歳高校の国語の教師	学校が家の横 帰宅後家に誰もいない状態で、寂しい想いをさせた 寂しさを紛わすために小2より地域サッカー部に入り、友人を作ることができ、今も継続 大学は自宅を離れ4年 教員養成大学2年 現在28歳小学校の講師
矯正	矯正治療後1週間は痛くて食べるのが苦痛 矯正ワイヤーで口の中をよく怪我をしていた 歯磨きが難しかった	小学2～3年生顎の矯正を受け、目立つ装置で親も友達の反応を心配したが、拒否することはなかった 転んでの怪我
その後の手術	入院の期間:高校2, 大学3 本人の成長, 学校の行事, 長期休業中など医師と細かく打ち合わせた 手術の部位: 鼻筋, 手術痕修正 入院中のようす: 毎日病院へ 同じ症状の友達との出会い、皆、明るい人達で励まされた	入院の期間:小学5, 高校2, 大学3 本人の成長, 学校の行事, 長期休業中など医師と細かく打ち合わせた 手術の部位:唇, 鼻筋, 腸骨の骨移植 外科的顎矯正手術
特記事項	親子で発音練習に努力し、無理のない学校生活ができた 中学校が荒れていた中で、いい友達との良好な関係をもて、乗り切ることができた	帰宅後の寂しさから、サッカー同好会へ入部、そこでの良好な人間関係

II 子供たちの声 (成長期について)

いろいろな場面において、自分なりに努力してきたこと

○からかいや嫌がらせを受けたとき

こちらが過剰な反応(ムキになっておこる. 言い返せずにめそめそ泣く等)をすると、相手は面白がってエスカレートするので、じろっと一睨み返して無視する。

やがて、相手は飽きる。

○友人から唇や歯のことで尋ねられた時

どうして声が変わるのか. 唇の傷(手術痕)は何かなど聞かれた時、そのことを怒ったり、嫌がったりすると、からかいにつながるの、自分でわかる範囲できちんと説明する方が、相手も納得する。

親や周りの人たちにお願いしたいこと

お子さんが、口蓋裂などについて、小さい頃のことや症状など聞いてきたら、きちんと説明してあげてほしい。手術によって、見た目や機能などは良くなることも伝え、励ましてほしい。

自分が自信を持てるかどうかは、親からの言葉が一番で、意識は全く違ってくる。

自分が教師になり、同じ症状の子供を持つ保護者の方からの相談を受けた

相談内容をきちんと受け止め、冷静に対応できた

手術によって外見的にも機能的にもそんなに気にかけなくてよいくらいになれた
社会生活に支障がないと思えるようになってきた

III 子育てにおける親の願いとその実現に向けて

(1) 子供との初めての出会いにおいて(親としての構え、心の強い親を目指して)

◎びっくり なぜなのか どうしてか どうなるのか どうすればよいのか。

この現実を受け止めるどころか、現実に対しての不安、将来に対しての不安が頭の中一杯であったが、親がしっかりしないといけないと思った。

◎親族の受け止め

親がめそめそして気を落としていたらどうするか。今まで以上に元気を出して明るく生きていかなければと気合いをかけられた。(祖母)
一方では、いろいろなことでかなり責められた。

◎お医者さんの話

原因ははっきりしない。非常に数は少ない。

今までの例としては親がしっかり手を取り合って子育てをしていくことが何よりも大切なことなど現状と励ましを受けた

◎廻りの人たちとの関わり

誕生の祝いの言葉をたくさんいただければいただくほど、つらい思いをした。

誕生直後の入院時はもちろんのこと、退院後もしばらくは外部との接触に大変心を痛めた。しかし、ある時期を過ぎたら、積極的に外部(親戚、近所、親との外出等々)との接触をはかることにした。

(2) 幼児期の生活において(人間としての自立・判断力・生活力を目指して)

◎子育ての基本的な考え

予測されるいじめ、からかいへの対応力

(甘えの排除)

(努めて自分のことは自分で)

食事(手術に耐える体力)・甘いものの制限(虫歯予防)

歯磨きの励行(歯や顎を強く保つ)

◎日常的な生活の中で

発音練習、会話(同年次の子ども・友達との接触をするように、保育所)

(3) 学校生活の始まりにおいて

- ◎学びの基礎と基本的な生活習慣の定着を目指して(小学校)
宿題と予習(できるだけ目を通す, 国語の本読み)
自分のことは自分で徹底
- ◎幅のある友人関係を目指して(中学校)
- ◎社会的自立を目指して(高校・大学生)
生活の自立ができるように, 将来を見越した大学の選択(本人の意志と本人の実力)

IV 安心して学校生活を送るために

(1) 小・中学校の現状

◎学級等の人間関係から起こる問題

不登校の頻度 (小学校0.3%・中学校0.28%)

中学校1年の問題としては, 環境の変化

いじめの現状

いじめの実態把握の問題

自殺につながる大きな問題

いじめは, いつでもどこでも起こりうるという認識を持つこと

いじめの定義

旧「自分より弱い者に対して一方的に身体的・心理的攻撃を継続的に加え,
相手が深刻な苦痛を感じているもの」

新「当該児童生徒が, 一定の人間関係のある者から心理的・物理的な攻撃を
受けたことにより精神的な苦痛を感じているもの」

◎学力の問題

基礎・基本を確実に身に付けさせる. 読み・書き・そろばん(計算)

家庭学習の習慣づけ

学校の担任とのより良い関係づくり

(2) 確かな成長を願って

◎基本的な生活習慣を確実に身につけさせること

あいさつ 自分のことは自分で 早寝早起き 朝食を摂る

◎家庭におけるコミュニケーション能力を高める場の設定

食事の時間は一家団欒の場 自由に楽しく語る(特に幼児期・小学校期)

◎自己存在感・成就感を通したセルフ・イメージの高揚

身近で簡単な目当てを立て, それに向かって努力し, そしてやり遂げた喜びを
味わう, これを繰り返すことによって, 自己成就感を高める

親が必死の思いで子どもを育てるといふ意気込みが一番大事

親は子どもの不安, 悩みの一番の理解者でありたい。

いつでも, どこでも, 何があっても支えられるのは親である。

定例会のご案内

つばさの会が団体登録している、福岡市人権啓発センターのイベント「ハートフルフェスタ」に合わせて、第17回つばさの会定例会を開催します。当日は他にも色々な催し物がありますので、是非お出かけください。

日 時 2007年10月13日(土)AM10時より

場 所 博多リバレイン10F 「ココロンセンター」研修室

(福岡アジア美術館横「Eエレベーター」で10階にお越しく下さい)

内容 ◆講演会 「食育について」

講師 九州大学病院 小児歯科 岡 暁子 先生

◆交流会

出欠連絡について

準備の都合上、下記の要領にて、出欠のご連絡をお願いいたします。

I	10/13 第17回定例会	(締め切り：9月30日)
II	11/18 レクリエーション in 都府楼跡	(締め切り：10月31日)

【記載事項】

- ① イベント名ならびに出席／欠席
- ② お名前
- ③ 大人の人数、子どもの人数・年齢

【連絡先】

メール：tsubasa9@dent.kyushu-u.ac.jp

はがき：〒812-8582

福岡市東区馬出3丁目3-1
九州大学病院顎顔面口腔外科
言語療法室 松崎 幸代

レクリエーションのお誘い

一昨年好評でした 大宰府 都府樓跡の交流会！今年も企画しました。

青空の下、保護者は芝生の上でおしゃべり（悩み相談も可です）子どもたちは広場で、色々な遊びに盛り上がる事でしょう。

皆さんもいらっしゃいませんか？ スタッフ一同お待ちしております。

日 時 2007年11月18日（日）

10：00～（2～3時間程度）

場 所 大宰府 都府樓跡

集 合 バス通り沿いにある、門のような石の近く

参加費 1世帯 500円（傷害保険料を含む）

持参品 お茶・昼食・レジャーシート・帽子 e t c

荒天時は中止します。開催の判断がつかない場合は、当日、7時30分から8時の間に、言語療法室までお問い合わせください。

TEL 092-642-6458



¥¥¥¥¥ 会計報告 ¥¥¥¥¥

日付	摘要	収入	支出	残高
H19/ 1/ 1	前年繰越金			180,415
	福岡市共同募金会より	20,000		200,415
H19/ 1/27	寄付金の振込み	202,806		403,221
H19/ 1/28	バザー売上	37,756		440,977
	当日募金	14,550		455,527
	参加費	22,500		478,027
	ぜんざい材料費		6,816	471,211
	講師謝礼		20,000	451,211
	事務費		4,534	446,677

(会計担当 都甲)

お 礼

バザーに商品を提供していただきました方はじめ、ご協力くださいました

皆様、ありがとうございました。

また、寄付金を寄せてくださいました多くの方々へ、心より感謝申し上げます。

今後の会の運営に、大切にに使わせていただきます。

(順不同)

蒲ヶ原さん、良永さん、植田さん、小林さん、山下さん、満生さん、城戸さん、八代さん、福島さん、佐々木さん、古井さん、前川さん、中田さん、橋詰さん、古田さん、三浦さん、柳下さん、後藤さん、辻本さん、桑療さん、西田さん、田畑さん、鈴木さん、郡司掛さん、飯田さん、横井さん、河村さん、荒木さん、妹川さん、嘉村さん、後藤さん、柳澤さん、佐々木さん、山内さん、山木さん、梶ヶ谷さん、隅倉さん、飯干さん、唐澤さん、杉山さん、緒方さん、室江さん、井上さん、野田さん、美馬さん、永尾さん、宮崎さん、稲田さん、吉浦さん、金原さん、伊藤さん、頼田さん、山地さん、園田さん、高橋さん、友利さん、前廣さん、大口さん、西垣さん、杉永さん

皆様からの多くの募金をいただき、4月23日現在で238,040円となりました。本当にありがとうございました。今後の会の活動に役立てさせていただきます。

第16回 つばさの会 アンケート集計結果

1. 今国の講演会の内容について (回答 14)

良い	普通	良くない	大変良くない
10	4	0	0

- ・生まれてから成人して大きくなるまでの治療(手術など)のことを聞くことができよかった。また、大きくなった子どもの声を知ることができて良かった。私も子どもにも正直に病気のこと、今後のことなど伝えて行こうと思う。
- ・実際に子どもを育てられた方のお話で、大変参考になりました。今後も今回のように実際に子育てをしてこられた方のお話しを聞く機会があればと思う。
- ・中二の娘ですが、今までを振り返ることができましたし、またこれからの子どもとの向き合い方について考えることができました。
- ・今後の子育ての参考になり、とても良かった。
- ・2人の現在自立したお子さんの子育てをされた方のお話というのは、自分たちのこれからの姿を投影しながら聞けて良かったです。また、今振り返ってその時の対応が結果として良かったのか、そうでなかったのかということを知れたのも良かったです。
- ・子育てを終えた方の実体験やお子さんの気持ちを聞いてよかった。
- ・内容が濃くて、すごくためになった。
- ・親として教育者としての両方のお話を伺えて良かったです。今の学校の現状については不安も多いのですが、親が強く気持ちを持って子どもに接すれば大丈夫で、普段から良い親子関係を築いておくことが大事だと思いました。

2. 時間について(回答 16)

長い	適当	短い
0	16	0

3. 次回の講演の内容についてのご要望

- ・経済的なことについて(治療にかかる費用など)、話してほしい。
- ・成人した患者さんの話を聞きたい(複数あり)

3. バザー/ぜんざい会について(回答 8)

行って欲しい	希望しない
8	0

- ・座って食べる場所が少なく、子どもと一緒にゆっくり食べることができなかったのが残念だった。
- ・寒かったので温かいぜんざいでよかったです。
- ・他の家族とぜんざいを食べながら、お話ができ良かった。
- ・椅子だけでもいいので多く置いてほしい。
- ・ぜんざいはとてもおいしかった。でも講演が終わるのが昼なので、おにぎりなどのほうがいいと思う。
- ・バザーはもっとたくさんの人に買ってもらえるように外部の人も来るところでやってみては。
- ・毎年でなくても何年かに1回というかたちでもいいと思う。

5. その他のご意見

- ・つばさの会に参加して2回目ですが、なかなか他の人と会話することができないので、他の人と話をする機会を増やしていただくと良いです。
- ・以前担当していただいていた先生に会えて嬉しかった。

6. 次回の催しについて

回答なし

7. 福岡親子の会「つばさ」についてのご意見ご要望

- ・こういう会があるのはとても支えになります。ありがとうございました。
- ・はじめて参加しました、次回も是非参加したいです。
- ・このような集まりがあると心強く思います。
- ・今のような感じでこれからも続けて下さい。

平成 20 年の予定

- 1月 つばさクラブ
保護者の茶話会，皆さん集まっているいろいろお話ししましょう。
- 4月 第 18 回定例会「つばさ」講演会
ミニコンサートの計画もあり

ご 報 告

時間を割いて，スタッフ会やピアカウンセリングに協力いただいた保護者の方に，交通費として、1回 500 円を限度にお支払いしようということになりました。皆様のご理解をお願いいたします。（九州大学病院矯正歯科 鈴木 陽）